

令和6年度事業計画及び予算を承認

第134回理事会議事概要

令和6年3月5日（火）

ビルメンテナンス会館4階会議室

第1 審議事項

第1号議案 入会の承認について

その1 正会員 株式会社エヌアールサービス

その2 正会員 株式会社サイリス

その3 正会員 日章警備保障株式会社

その4 正会員 日都産業株式会社

その5 正会員 株式会社 FOREST

標記5社の入会について提案説明があり、それぞれ全会一致で承認された。

■提案説明

その1 株式会社エヌアールサービスは昭和41年に空調管理の会社として設立されたが、現在は清掃業が中心の会社である。講習会の受講等による技能向上や各社とのネットワーク構築を目的に入会を希望している。推薦会社は、株式会社東海管理舎である。

その2 株式会社サイリスは平成5年に清掃会社として設立されたが、現在はビル全体の管理業務の会社として設備管理業務等も行っている。サービス品質向上のため、教育や最新情報の取得、各社とのネットワーク構築を目的に入会を希望している。推薦会社は、株式会社アイティートラストである。

その3 日章警備保障株式会社は昭和45年に設立され、警備業を中心に一部清掃業も行っている。清掃業務の事業拡大により、技能向上や情報収集のため入会を希望している。推薦会社は、朝日管財株式会社である。

その4 日都産業株式会社は昭和53年に設立され、デパートや銀行等の清掃を行ってきた。サービス品質向上のため、情報収集や講習会の活用、資格取得による社員モチベーションアップを目的に入会を希望している。推薦会社は、株式会社東京クリアセンターである。

その5 株式会社 FOREST は令和2年に設立され、ベッドメイキングや建築請負事業を行っている。講習会受講等による人材育成や外国人材受入支援センターの活用による外国人雇用拡大を目的に入会を希望している。推薦会社は、東京コニックス株式会社である。

第2号議案 令和6年度事業計画について

令和6年度事業計画案について、関連がある第3号議案令和6年度予算案、第4号議案令和6年度資金調達及び設備投資の見込みとともに一括して提案を受けた後、個別に採決され、いずれも全会一致で承認された。

■提案説明

新規事業や拡大・縮小した事業、終了した事業など、前年度と比べて大きな変化のあった事業のうち、主なものを説明する。

1 新規の事業

建管では、トイレ清掃や床ワックス塗布の際などに清掃現場で使用している作業表示板について、使用状況に応じた適切な注意喚起を図るために、表示内容を差し替えて変更できる掲示物を作成する。

保全では、メーカーや業界各社の省エネへの取組事例について調査研究するほか、給排水管、電気設備等の修繕時期の特定に活用できるよう、検査や診断技術について調査研究する。

2 不定期開催の事業

ビルメンテナンスフェア TOKYO は、7月18、19日に東京都立産業貿易センター浜松町館で開催する。

ビルクリーニング技能競技会、海外研修視察、役員・委員の集いは開催年度ではなく、日帰りバス旅行はランチクルーズに替える。

3 事業の拡大

建管のAコース、保全の専門講習、障がい関係のセミナーを拡大する。

4 事業の縮小

(1) 講習会関係

警備は法令改正等の結果受講者が減少を続けていることを踏まえ、実績に応じて見直す。

労務の危険予知訓練及びリスクアセスメント講習は平年ベースに戻し、講師派遣事業は実績に合わせて見直す。

障がいの各種事業も実績に応じて規模を見直す。

(2) 講習会以外

年11回発行している広報誌「ネットワーク東京」について、理事会開催に合わせ、年6回発行とする。

5 事業の終了

広報のこども絵画コンクールにかかるカレンダー製作と障がい関係の清掃現場体験指導については一旦休止し、今後の在り方を検討する。

経営研究の公的助成金等の周知は、全国協会の事業と重複することから終了する。

6 その他

アビリンピック東京大会については、例年どおり開催に協力する。

第3号議案 令和6年度 予算について

■提案説明

正式な予算書は正味財産増減計算書だが、協会の運転資金の現状を直接表すものではないため、今回は収支計算書を中心に説明する。

1 事業活動収入

会費収入は、5年度予算とおおむね同額を計上した。

事業収入は、講習会の受講料改定や設備専任講師を活用した新規講習を複数立ち上げ、増となる。また、ビルメンテナンスフェアの開催年度であるため、出展料収入を計上した。

収益等その他の事業収入は、文化スポーツ親睦事業収入が減の一方、会議室収入は利用料金減免率を50%から35%に改定し、増となる。

以上、事業活動収入計は3億1,760万円、5年度予算比で1,989万円の増となる。

2 事業活動支出

<事業費>

- (1) 建 管：ビルクリーニング技能競技会の開催年度ではないため、115万円の減となる。
- (2) 警 備：受講人数の減少に合わせて開催回数を見直したため、219万円の減となる。
- (3) 保 全：協会専任講師の担当増により、240万円の減となる。
- (4) 普及啓発：講師派遣会員企業に対する協力金は、令和5年度をもって廃止することとし、55万円の減となる。障がい者等自立支援は、清掃現場体験指導等を休止し、333万円の減となる。
広報誌は年6回発行とし487万円の減、また絵画コンクール

カレンダーの製作を休止し 510 万円の減。ビルメンテナンスフェアは開催年度のため 1,961 万円の増となる。

(5)収益等その他の事業費：会館管理運営は水道光熱費や修繕費の減で 1,482 万円の減となる。

<管理費>

有期雇用職員の勤務日数の減、退職手当の減などにより、5 年度比 1,259 万円の減となる。

以上、事業活動収入計から事業活動支出計を差し引いた事業活動収支差額は、5 年度比 6,895 万円改善し、プラスの 50 万円となった。

<令和 6 年度予算正味財産増減計算書内訳表>

公 1 から公 4 までの評価損益等調整前当期経常増減額の欄は、いずれも公益事業に関わる収入よりも費用が多くなっており、収支相償の基準を満たしている。

公益目的事業計の比率は 63.9%で 50%を超え、公益事業比率の基準を満たしている。

遊休財産保有限度額については現時点では算出できないが、保有基準の 100%以内になる見込みである。

第 4 号議案 令和 6 年度 資金調達及び設備投資の見込みについて

■提案説明

本議案は、都への事業計画提出時の付属書類であり、令和 6 年度予算とは別に議決するよう、都より指導されている。

1 資金調達の見込み

融資等を受ける必要のない財政状態であり、資金調達の予定はない。

2 設備投資の見込み

エレベーター更新工事をはじめ 4 件の会館工事があり計 3,181 万円となる。

第 5 号議案 第 14 回定時総会の招集について

標記の件について提案説明があり、全会一致で承認された。

■提案説明

定款第 16 条第 1 項に基づき、令和 6 年 6 月 4 日（火）午後 2 時 30 分より、第 14 回定時総会を招集する。審議事項は令和 5 年度事業報告承認の件、令和 5

年度決算承認の件、令和6・7年度役員立候補者資格等審査委員会委員選任の件である。開催方法はコロナ禍前と同様とし、総会終了後には懇親会も実施する。

第6号議案 ビルメンテナンス会館利用規則の一部改正について

標記の件について提案説明があり、全会一致で承認された。

■提案説明

改正の主旨は2点。1点目は、当会館の設備更新や修繕工事に係る経費や水道光熱費は年々上昇している一方、それを利用料に転嫁できておらず、財政を圧迫している。このため応分の負担を求めることとし、利用料金の減免率を50%としている会員や全国協会などの団体について、35%に改正する。

2点目は、研修室を分割で使用した際の利用料金の不均衡については是正する。施行日は、令和6年6月1日とする。

第7号議案 委員会委員の追加選任について

標記の件について提案説明があり、全会一致で承認された。

■提案説明

任期は、いずれも令和6年3月1日から令和7年6月30日までとなる。

1 労務管理委員会

委員として、同委員会労災収支改善小委員会委員に、ウィズ株式会社、業務管理部次長の小関政夫氏を提案する。氏は、同社から派遣されていた大村和弘氏の後任として推薦された。会社では清掃業務に長年携わる傍ら、安全な職場づくりを主導している。

2 経営研究委員会

委員として、同委員会官公庁契約小委員会委員に、株式会社シービーエスの豊田泰直氏を提案する。氏は、会社で官公庁入札部門を長年担当しており、深い知見を有している。

第2 報告事項

1 全国協会報告

(1) 価格交渉調査アンケートの結果報告

回答者数は全体の54.7%である1,446社、そのうち官公庁物件の受注がある会社が69%、998社だった。価格交渉の実施は998社の51.9%である518

社が行い、そのうち 64.1%の 332 社が、成果があったと回答した。

一方、104 社が「成果が得られなかった」と回答しており、98 社が「予算がない」と言われたという結果だった。中には「現契約での契約が困難なら契約を解除し、改めて競争入札にかける」と言われたケースもあったという。

価格交渉を行わなかった 480 社にその理由を尋ねたところ、181 社から「発注者に交渉はできない」との回答が寄せられた。

(2) 2024 年ビルメンテナンス議員連盟に対する要望書の回答

全国協会と全政連が昨年提出した要望について、ビルメンテナンス議員連盟の橋本会長名で回答があった。主な点だが、発注ガイドラインの強化について、発注関係事務担当職員のためのマニュアル作成を要望していたが、現在全国協会や地方自治体関係者も交えて検討が行われており、今年度末までにマニュアル案を作成するという回答だった。

(3) 第 54 回実態調査報告

昨年 10 月中旬に調査した結果をまとめた『ビルメンテナンス情報年鑑 2024』を 3 月中旬に全国協会から会員に送付する。

業界が抱える課題など関係各所に働きかけるには、根拠資料としてより精度の高いデータが必要となる。今年 9 月には第 55 回の調査を実施するので、引き続き回答に協力をお願いしたい。

(4) 第 2 回 新・世界ビルメンテナンス大会 2024 ドバイの開催

第 2 回大会はアラブ首長国連邦のドバイで開催される。日程は 10 月 6 日から 10 日までの 5 日間である。2 月中旬に案内を送付しているので、参加を検討いただきたい。

(5) 令和 6 年能登半島地震に対する対応

1 月中旬に全国協会から文書が発出されたが、石川、富山、福井、新潟の各県では、協会事務所や所属会員に特段の被害はなかったという。

全国協会では、会員の営業被害や地区協会が行う災害協定への資金援助など、幅広い援助を可能とするための規則改正を行い、災害協定に基づき行われる負担費用などに即時活用できるよう 1,000 万円の資産を取崩し、

準備を整えた。また、2月29日には、全国協会の佐々木会長、一戸直前会長等が金沢を訪問され、石川県協会の浅岡会長へ100万円の義援金をお届けした。

2 委員会報告

(1) 総務委員会

ア 第58回優良従業員表彰式の案内と対象従業員推薦のお願い

標記式典における表彰対象従業員の推薦をお願いしたい。

式典は6月18日14時から、会場は東京国際フォーラム、ホールCである。各社から5名を限度に推薦を受け付ける。推薦はオンラインからで、締切りは4月5日である。

イ 令和6年 新年賀詞交歓会の実施報告

今回はコロナ禍前の立食形式に戻し、来賓も各種団体から19名、政連が支援する議員は8名が出席、入場者総数は338名とコロナ禍前と同規模となった。

収支は、収入は298万円、支出は423万5,000円、収支差額は125万5,000円となった。

ウ 正会員の倒産に伴う対応

正会員の株式会社須田・ビルメンテナンスは、1月末を最後に会社や代表者と連絡がつかない状況が続いている。現時点では正式な倒産日は分かっておらず、退会の意味確認もできていない。一方、この状態を放置すると会費未納額が積み上がるため、総務委員会としては1月末をもって協会サービスを一旦停止することとした。

本扱いは全協も同様とすることを確認済である。

(2) 労務管理委員会

ア 現場で働く従業員の心の健康セミナーの開催

3月13日に標記セミナーを開催する。当セミナーでは昨年秋の労災認定基準の改正の具体的な内容を解説するとともに、カスタマーハラスメントが従業員の心のダメージとならないために企業ができる対策を考える。

イ 転ばないカラダの作り方セミナーの実施報告

2月22日に標記セミナーを実施した。第一部では、眼科の先生に目の

不調と転倒の関係について解説していただき、第二部ではベンチャー企業の代表に AI テクノロジーを活用した転倒予防についてお話しいただいた。会場参加とオンライン配信を合わせて約 50 名の参加があり、アンケートでは、新しい切り口で転倒防止を取り上げたことを評価する等の声が多く寄せられた。

(3) 厚生委員会

第 98 回ビルメン野球大会の開催

野球大会の会場は主にサンケイスポーツセンターで、5 月 12 日から 3 週にわたり毎週日曜日に開催し、準決勝までを行う。決勝戦と 3 位決定戦の開催日と会場は現在調整中であるが、多くの会員の参加をお待ちしている。

(4) 経営研究委員会

東京都財務局との意見交換会の実施報告

年 2 回実施している東京都財務局との意見交換会を 1 月 22 日に実施した。今回はゼロ都債活用による入札時期の前倒しに加え、入札参加資格者に対する社会保険の適正加入の確認の実施など、長年要望していたものが前進した。引き続き業界発展のために意見交換、要望活動を進めていく。

(5) 建築物衛生管理委員会

清掃状況の「見える化」セミナーの実施報告

3 月 1 日に標記セミナーを実施した。今回のセミナーでは、これまでの委員会活動の遍歴や実証実験の結果、清掃品質をワンランク向上させるための手順などについて、同委員会の正田委員が講演した。

当日は約 50 名の参加があり、アンケートでは、清掃状況を数値化することでオーナーへの清掃回数や方法などの説明に信憑性が増し今後の提案に利用したいとの回答を得られた。

(6) 警備防災委員会

ア 立入の現状と警備業の課題セミナーの開催

4 月 3 日に標記セミナーを開催する。警備業に係る違反取引対策の効果的な交渉方法や過去の事例、人手不足対策として高齢者が長く活躍でき

る体制づくり等を講演していただく。また、約 5 年ぶりに警視庁担当官をお招きし、警備員に関わる最新の事件事故情報及び立入検査における要点などをお伝えする。

イ 警備防災参考シートの製作報告

2 種類の下敷きを製作した。傷病者や火災発生などの緊急時、不審者や危険物などの確信が持てないときなど、現場警備員に活用していただけるように製作した。こちらは協会ホームページからもダウンロードできる。

ウ 警備業の DX 変革と未来の戦略導入セミナーの実施報告

2 月 13 日に標記セミナーを開催した。NEC ネットエスアイ株式会社や株式会社ロボサピエンス、そして ALSOK ファシリティーズ株式会社が警備業界における DX の必要性や、DX を活用した警備ツールなどをご紹介した。

当日は計 72 名が受講され、アンケートでも好評をいただいた。

(7) 障がい者等自立支援委員会

ア 第 22 回東京障害者技能競技大会への委員派遣報告

2 月 18 日に独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構東京支部主催の第 22 回東京障害者技能競技大会が開催された。当協会はこの大会に協賛し、検定委員・補佐員を派遣、開催に協力した。

会員企業では、太平ビルサービス株式会社東京支店の緑川佐助氏が金賞、株式会社ビケンテクノ東京本部の梶瑞貴氏が銀賞を受賞した。金賞を受賞した緑川氏は、11 月 22 日から愛知県で開催予定の第 44 回全国障害者技能競技大会に東京代表として選出される。

イ よくわかるビルクリーニング技能検定 3 級指導者向けテキストの作成報告

令和 3 年に作成した『よくわかるビルクリーニング技能検定 3 級』をベースに、各工程での詳細な指導のポイントを追加し、検定受検の指導教本として使用できるようにしたほか、清掃作業の実務指導にも役立つ内容も加えた。各作業のポイントとその指導のポイントを見開きで解説、障がい者はもとより、広く 3 級受検者及びその指導者に活用いただける内容である。

(8) ビルメンテナンスフェア実行委員会

ビルメンテナンスフェア TOKYO2024 の開催（進捗報告）

会期は 7 月 18 日と 19 日の 2 日間とし、東京都立産業貿易センター浜松町

館にて開催する。

テーマを「新常態時代を切り拓く、イノベーションとの出会いがここにある」とし、メインビジュアルも決定、4月より特設サイトから来場者の受付を行う予定である。出展社は前回2022年と同程度の28社の見込みである。今後は、チラシやガイドなどの配付を順次実施していく予定である。

3 他団体への派遣等報告

一般財団法人医療関連サービス振興会

2月20日付で、全国協会を通じ、一般財団法人医療関連サービス振興会から医療関連サービスマーク認定に係る実地調査指導員の推薦依頼があり、事務局専任講師の北山克己氏を推薦することとした。

任期は、2024年6月1日から2026年9月30日である。

4 事務局報告

(1) 主な出来事(1・2月)

1月4日：会長年頭挨拶

10日：地区本部事務局長会議

12日：三役会、理事会、新年賀詞交歓会(会場：浅草ビューホテル)

17日：全国協会地区本部長会議

2月6日：三役会

14日：地区本部事務局長会議

(2) 今後の予定

4月2日：三役会

5月8日：三役会、第135回理事会

6月4日：三役会、第14回定時総会

(3) 会員数の推移

正会員513社、賛助会員70社(3月1日現在)

(4) 令和6年度講習会案内

『令和6年度講習会のご案内』ができたのでご活用願いたい。(了)